

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

一般質問

特集：高校生議会

姉妹都市訪問代表団

委員会視察レポート



平成 29 年 12 月 15 日撮影

ところが ききたい



主な議案

一般質問

特集：高校生議会

高校生議会アンケート

委員会視察レポート

基本構想を
議決事件に追加

戸田市議会の議決事
件に関する条例の一
部改正

平成23年の地方自治法改正により、「基本構想」の法的な策定義務がなくなり、「基本構想」の策定や、議会の議決を要するかは、各自治体の裁量で判断することになりましたが、現在の条文のままでは、

《結果》原案可決
(全員一致)

戸田市総合振興計画の「基本構想」の策定等に関して、議決することができない状況となっています。

つきましては、市政の根幹をなす、戸田市総合振興計画の「基本構想」に議会の意思を反映させるため、戸田市議会の議決事件に関する条例の一部を改正するものです。



ことなど4点を強く求める。

意見書(議員提出議案)を政府に提出

◇地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書

十分な財源措置を講ずること、また、被災者支援システムの全自治体への普及を進め、完備を目指すとともに、学校区単位での自主防災コミュニティの組織化や訓練の実施等、地域防災力の向上を図

【請願の結果】

〔不採択(3件)〕
(賛成4 対 反対21)

▼国保広域化に伴う国保税の大幅値上げに反対する請願

※3件は提出者が違うだけで、内容は同じものです。

【請願項目】

①今後も現行の法定外繰り入れを堅持して、国保税の値上げをやること。

②低所得者の保険税減免制度を拡充すること。

③国保税の徴収は、生活と営業の再建を最優先し、保険証の取り上げを行わないこと。

討論



花井 伸子 議員

市民の生活最優先で
取り組むべき

①国保税条例の一部改正で述べたとおり、賛同する②現在ある申請減免制度が有効に活用されていないことも問題。先進自治体においては独自の減免制度を実施しているところ、また、子どもへの均等割の減免制度など、制度を拡充することは重要である③徴収の在り方、短期保険証、資格証明書の発行については、より細やかに、慎重に行われるべきと考える。全国では、保険証がなく、医療費10割を支払わなくてはならないため、病院に行けず重篤になるケースが出ている。市民の生活最優先で取り組むべき課題であり賛同する。

以上、請願に賛成する。



林 冬彦 議員

減免制度の拡充は困難

①戸田市の法定外繰り入れを一度に削減することは国保加入者にとっても負担が大きく、現実的ではない。当面、法定外繰り入れを行いつつ、段階的に国保税の見直しを図っていく方向性は適切②今回の税率改正は、均等割額を抑制して改正を行うことから、低所得者に広く配慮している。減免制度を独自に拡充することは、財源がなく、再び法定外繰り入れの増加につながる可能性があり、非常に困難③保険税の滞納に至る背景は人それぞれだと思うが、できる限り納税相談に結び付け、滞納の背景を踏まえつつ納税方法を検討していくことが重要と考える。

以上、請願に反対する。

※請願項目の①②③と、討論の①②③は対応しています。

Jアラート対応

窓ガラスを割り
校舎へ避難できるか

「学校側とよく協議するよう通知」

浅生 和英 議員



議員 緊急事態の
有事、中
でも弾道
ミサイル

発射に伴いJアラートが鳴った場合、①公共施設への一時避難はできるか②小中学校はこの教室、廊下ともガラスに囲まれている。対応や指導は③スポーツ少年団など学校利用団体は、窓ガラスを割り、校舎へ避難できる

危機管理監 ①頑丈な

建物に類する公共施設がある場合、状況により、避難のための利用は、弾道ミサイルから身を守る有効な手段と考えられる。

教育部長 ②避難訓練

を実施、計画している。その時々状況に応じて適切な判断を行えるような力を身に付けることが重要である。児童生徒にそのような力

市民生活部長 ③学校

開放利用団体と学校側とのコミュニケーションが重要。各学校開放運営委員会の中で決めてほしい。全登録団体に周知し、安心して利用できるよう努める。

議員 市全体、市内全

校の避難訓練が必要。刃物を通さない防刃布の活用などを要望。併せてAEDを利用時の備えも進めてほしい。

弾道ミサイル落下時の行動

【例】直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。

近くの建物の中や地下に避難する。

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

避難訓練

避難訓練は、避難訓練の機会を捉えて実施する。避難訓練は、避難訓練の機会を捉えて実施する。

▲Jアラート
※弾道ミサイル落下時の行動
(出典：国民保護ポータルサイト)